

県民モニター「第2回アンケート調査」結果概要

1 調査概要

- (1) 調査テーマ：「家族・家庭のあり方」
- (2) 調査対象者：県民モニター1,335人（10月19日までの登録者）
- (3) 調査期間：平成19年10月10日(水)～10月24日(水)[15日間]
- (4) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (5) 回答者数：619人（回答率46.4%）
- (6) 自由記入欄：11箇所設定（回答者の71.1%がいずれかに記載）

<参考 - 対象者及び回答者属性>

		対象者	回答者	回答率
総数		1,335	619	46.4%
性別	男性	814	427	52.5%
	女性	521	192	36.9%
年代別	10～20代	93	29	31.2%
	30代	262	91	34.7%
	40代	243	93	38.3%
	50代	231	115	49.8%
	60代	371	230	62.0%
	70～80代	135	61	45.2%

2 調査結果の概観

(1) 家族のきずなについて

- ・回答者の家族構成は夫婦のみ世帯(35.5%)と二世帯世帯(47.0%)が8割強を占めるが、望ましい家族構成については、約6割(57.7%)が「祖父母や孫が同居する大家族」と回答しており、現実と希望の姿が大きく異なっていることがうかがえる。
- ・家族のきずなやまとまりについては、「弱くなってきている」(44.6%)と「どちらかといえば弱くなってきている」(42.6%)との回答が約9割を占めている。一方、家庭の役割については、「安らぎや愛情を与え合える場」(64.3%)、「夫婦が仲良く暮らせる場」(58.6%)との回答が多く、暖かいきずなで結ばれた家族関係を重視する意向がうかがえる。
- ・また、自らの家族や家庭に欠けているものでは、「一緒に過ごす時間」(33.8%)、「共通の目標」(29.7%)、「会話や連絡」(27.0%)が上位の回答であった。

(2) 家族のきずなを深める取り組みについて

- ・家族揃って行う行事として、「お正月」が約9割(88.9%)、「お盆(帰省等)」が5割(51.2%)を超えているのに次いで、「家族の誕生日」が約5割(48.6%)となっており、家族の記念日を家族でともに過ごす姿勢がうかがえる。
- ・自らの家族・家庭について考え、きずなを深める契機とするため、各家庭で自主的に「家族の日」を定めてもらおうという運動の認知度は1割程度(11.3%)だが、「家族の日」に「何かしようと思う」との回答は5割近い(47.2%)ことから、自主的に「家族の日」を定めるような取り組みが家族のきずなを深めるためのきっかけづくりとなりえることがうかがえる。
- ・また、家族・家庭の力を高める有効な取り組みについては、「家族一緒に参加できるイベント」、「家族同士や多世代が交流できるイベント」とする回答がいずれも5割を超えており、家族や地域の人々とともに過ごせるような事業の展開に対するニーズが高いことがうかがえる。

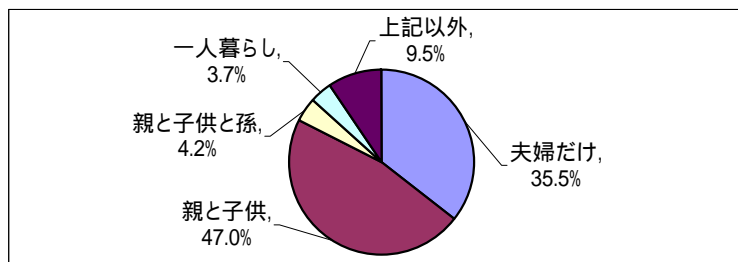
アンケート結果は、「こころ豊かな美しい兵庫推進会議」(自治会や婦人会など121団体で構成)が、家族のきずなを深め家庭の力を高めることを目指して取り組む「ひょうご家庭応援県民運動」を推進する上での参考にする。

3 調査結果

(1) 家族のきずなについて

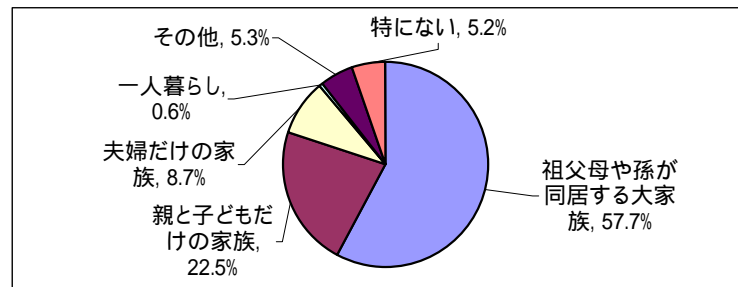
Q1 家庭の家族構成 (1つ選択)

- | | |
|------------|-------|
| (1) 夫婦だけ | 35.5% |
| (2) 親と子供 | 47.0% |
| (3) 親と子供と孫 | 4.2% |
| (4) 一人暮らし | 3.7% |
| (5) 上記以外 | 9.5% |



Q2 望ましい家族構成 (1つ選択)

- | | |
|-------------------|-------|
| (1) 祖父母や孫が同居する大家族 | 57.7% |
| (2) 親と子どもだけの家族 | 22.5% |
| (3) 夫婦だけの家族 | 8.7% |
| (4) 一人暮らし | 0.6% |
| (5) その他 | 5.3% |
| (6) 特にない | 5.2% |



「その他」の具体的な内容

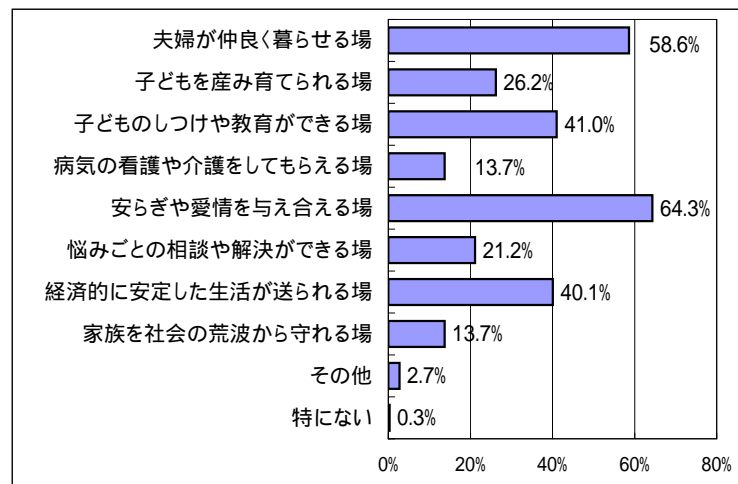
- ・それぞれの家族の状況や事情による
- ・同居ではなく近くで暮らすこと

14件
9件 など

Q3 家庭はどういう場であってほしいか

(3つ選択)

- | | |
|----------------------|-------|
| (1) 夫婦が仲良く暮らせる場 | 58.6% |
| (2) 子どもを産み育てられる場 | 26.2% |
| (3) 子どものしつけや教育ができる場 | 41.0% |
| (4) 病気の看護や介護をしてもらえる場 | 13.7% |
| (5) 安らぎや愛情を与え合える場 | 64.3% |
| (6) 悩みごとの相談や解決ができる場 | 21.2% |
| (7) 経済的に安定した生活が送られる場 | 40.1% |
| (8) 家族を社会の荒波から守れる場 | 13.7% |
| (9) その他 | 2.7% |
| (10) 特にない | 0.3% |



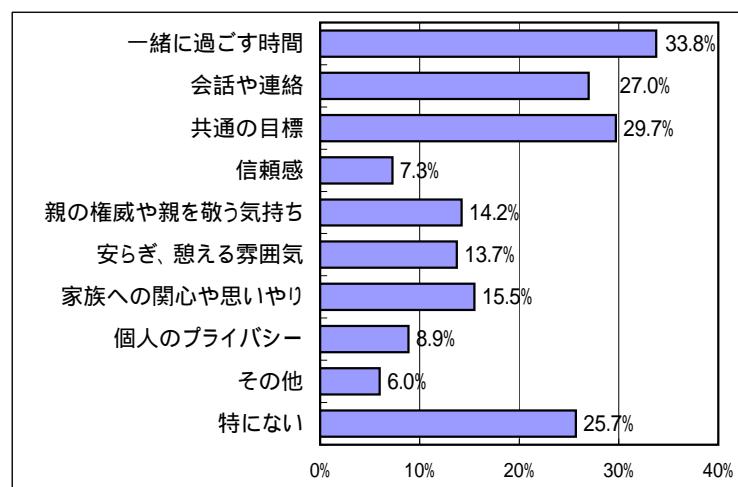
「その他」の具体的な内容

- ・社会活動を行う場 5件
- ・対話ができる場 3件 など

Q4 自分の家族や家庭で欠けているもの

(いくつでも選択)

- | | |
|------------------|-------|
| (1) 一緒に過ごす時間 | 33.8% |
| (2) 会話や連絡 | 27.0% |
| (3) 共通の目標 | 29.7% |
| (4) 信頼感 | 7.3% |
| (5) 親の権威や親を敬う気持ち | 14.2% |
| (6) 安らぎ、憩える雰囲気 | 13.7% |
| (7) 家族への関心や思いやり | 15.5% |
| (8) 個人のプライバシー | 8.9% |
| (9) その他 | 6.0% |
| (10) 特にない | 25.7% |

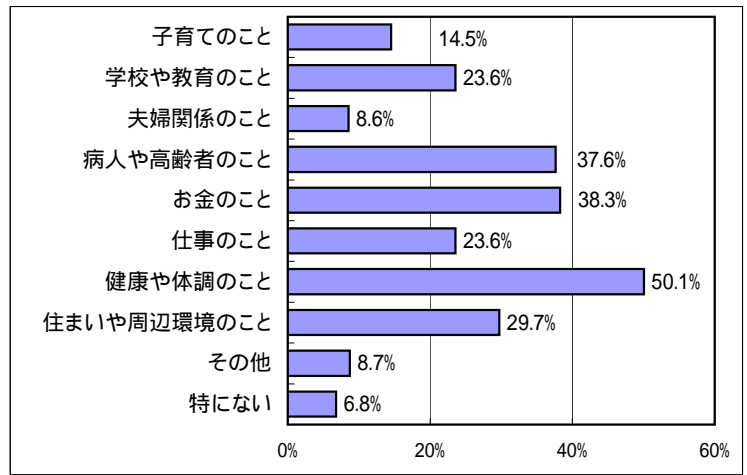


「その他」の具体的な内容

- ・経済的な余裕 6件
- ・しつけや教育 3件 など

Q5 最近、気になることや心配なこと
(いくつでも選択)

- (1) 子育てのこと 14.5%
- (2) 学校や教育のこと 23.6%
- (3) 夫婦関係のこと 8.6%
- (4) 病人や高齢者のこと 37.6%
- (5) お金のこと 38.3%
- (6) 仕事のこと 23.6%
- (7) 健康や体調のこと 50.1%
- (8) 住まいや周辺環境のこと 29.7%
- (9) その他 8.7%
- (10) 特にない 6.8%

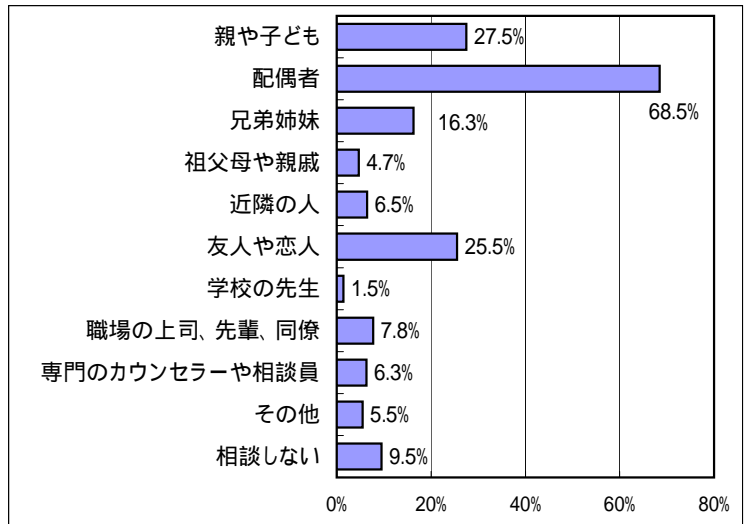


「その他」の具体的な内容

- ・地域や社会の問題 14件
- ・子どもの将来(結婚・就職など) 12件 など

Q6 心配事や悩み事の相談相手
(いくつでも選択)

- (1) 親や子ども 27.5%
- (2) 配偶者 68.5%
- (3) 兄弟姉妹 16.3%
- (4) 祖父母や親戚 4.7%
- (5) 近隣の人 6.5%
- (6) 友人や恋人 25.5%
- (7) 学校の先生 1.5%
- (8) 職場の上司、先輩、同僚 7.8%
- (9) 専門のカウンセラーや相談員 6.3%
- (10) その他 5.5%
- (11) 相談しない 9.5%

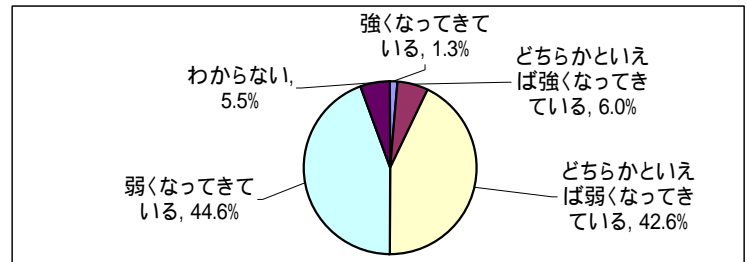


「その他」の具体的な内容

- ・医師・弁護士・牧師などの専門家 6件
- ・自ら行動して解決する 5件 など

Q7 家族の「きずな」や「まとまり」について (1つ選択)

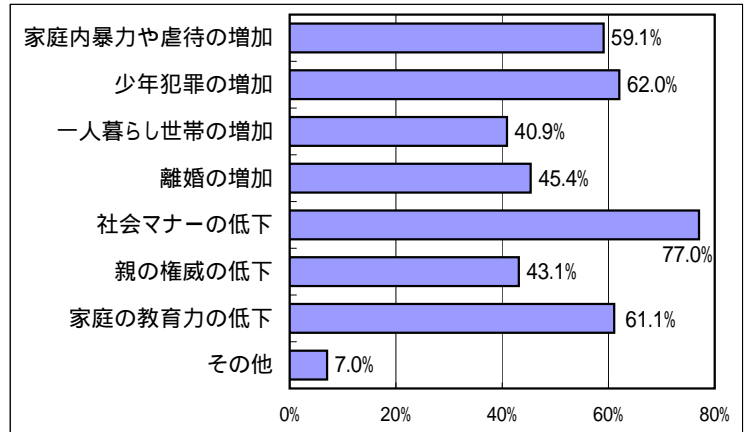
- (1) 強くなってきている 1.3%
- (2) どちらかといえば強くなってきている 6.0%
- (3) どちらかといえば弱くなってきている 42.6%
- (4) 弱くなってきている 44.6%
- (5) わからない 5.5%



(Q7で(3)、(4)の選択者(540人)に対し)

Q7-2 家族のきずなの弱まりはどこに表れているか (いくつでも選択)

- (1) 家庭内暴力や虐待の増加 59.1%
- (2) 少年犯罪の増加 62.0%
- (3) 一人暮らし世帯の増加 40.9%
- (4) 離婚の増加 45.4%
- (5) 社会マナーの低下 77.0%
- (6) 親の権威の低下 43.1%
- (7) 家庭の教育力の低下 61.1%
- (8) その他 7.0%



「その他」の具体的な内容

- ・自己中心主義や地域のつながりのなさなど社会風潮全般 21件
- ・学校や家庭での人間教育の欠如 10件 など

(2) 家族のきずなを深める取り組みについて

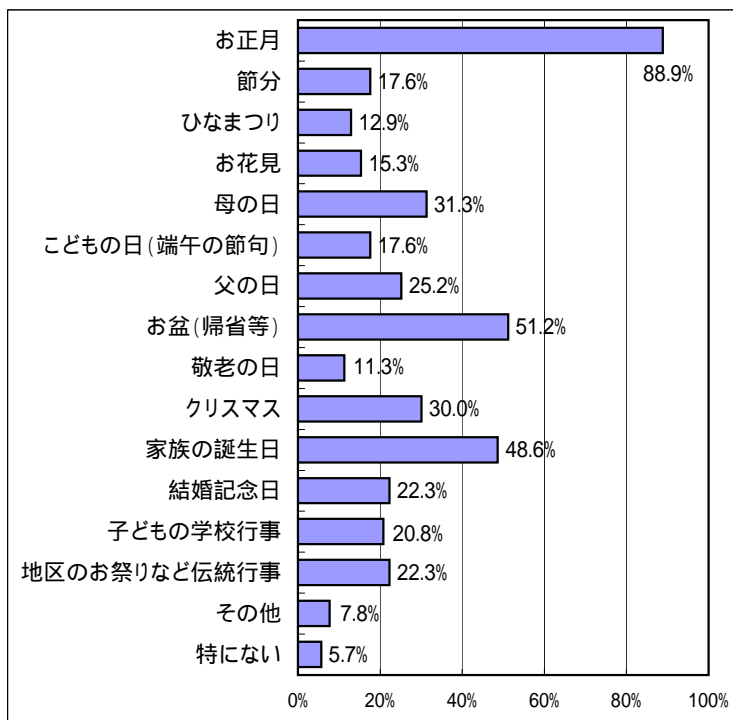
Q8 家族揃って行っている年中行事

(いくつでも選択)

(1) お正月	88.9%
(2) 節分	17.6%
(3) ひなまつり	12.9%
(4) お花見	15.3%
(5) 母の日	31.3%
(6) こどもの日(端午の節句)	17.6%
(7) 父の日	25.2%
(8) お盆(帰省等)	51.2%
(9) 敬老の日	11.3%
(10) クリスマス	30.0%
(11) 家族の誕生日	48.6%
(12) 結婚記念日	22.3%
(13) 子どもの学校行事	20.8%
(14) 地区のお祭りなど伝統行事	22.3%
(15) その他	7.8%
(16) 特にない	5.7%

「その他」の具体的な内容

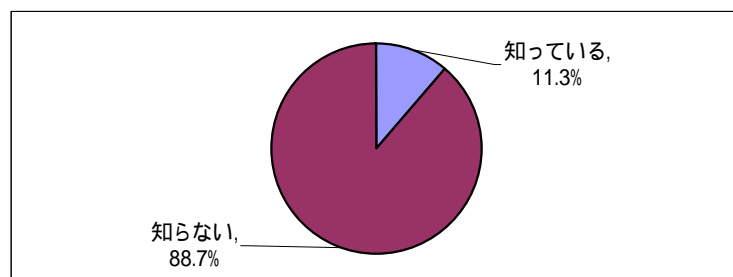
- ・旅行 12件
- ・命日や墓参り 8件 など



Q9 各家庭で「家族の日」を定めてもらうという運動の認知度 (1つ選択)

(1) 知っている	11.3%
(2) 知らない	88.7%

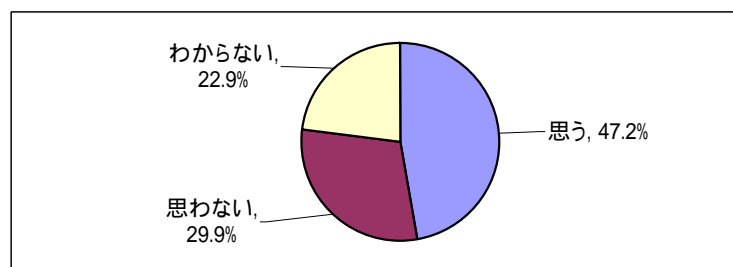
家族のきずなを深めるため、各家庭で「家族の日」を自主的に定めてもらうという運動を進めている。



Q10 「家族の日」に何かしようと思うか

(1つ選択)

(1) 思う	47.2%
(2) 思わない	29.9%
(3) わからない	22.9%



(Q10で(1)の選択者(292人)に対し)

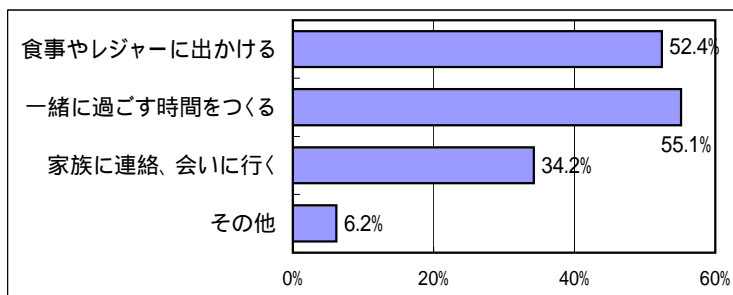
Q10-2 「家族の日」に何をするか

(いくつでも選択)

(1) 食事やレジャーに出かける	52.4%
(2) 一緒に過ごす時間をつくる	55.1%
(3) 家族に連絡、会いに行く	34.2%
(4) その他	6.2%

「その他」の具体的な内容

- ・家族で集まって近況報告などをする
- ・そうじなど家事を一緒にする



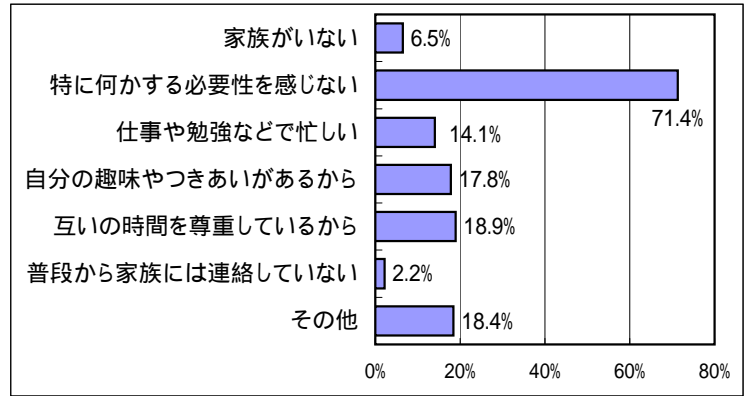
- 7件
- 2件 など

(Q10で(2)の選択者(185人)に対し)
 Q10-3 「家族の日」に何もしようと思わ
 ない理由 (いくつでも選択)

- | | |
|---------------------|-------|
| (1) 家族がない | 6.5% |
| (2) 特に何かする必要を感じない | 71.4% |
| (3) 仕事や勉強などで忙しい | 14.1% |
| (4) 自分の趣味やつきあいがあるから | 17.8% |
| (5) 互いの時間を尊重しているから | 18.9% |
| (6) 普段から家族には連絡していない | 2.2% |
| (7) その他 | 18.4% |

「その他」の具体的な内容

- ・ 普段から充分に取り組んでいるから
- ・ 特別な日と思えない(したくない)



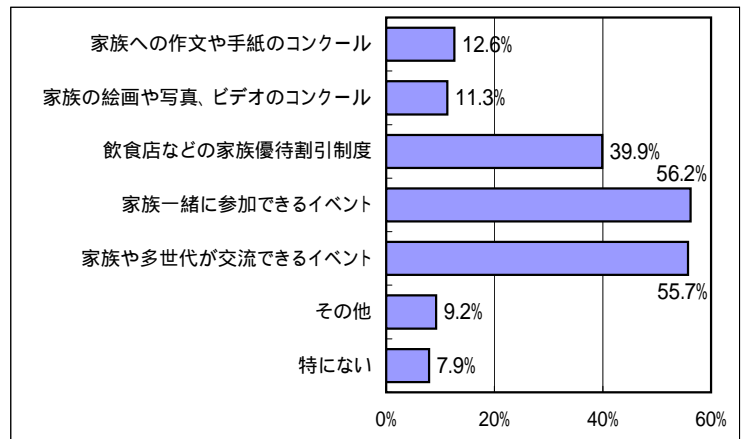
19件
6件 など

Q11 家族・家庭の力を高める運動に参加
 してもらうための取組 (いくつでも選択)

- | | |
|------------------------|-------|
| (1) 家族への作文や手紙のコンクール | 12.6% |
| (2) 家族の絵画や写真、ビデオのコンクール | 11.3% |
| (3) 飲食店などの家族優待割引制度 | 39.9% |
| (4) 家族一緒に参加できるイベント | 56.2% |
| (5) 家族同士や多世代が交流できるイベント | 55.7% |
| (6) その他 | 9.2% |
| (7) 特にない | 7.9% |

「その他」の具体的な内容

- ・ 家族や家庭などへの教育に関すること 9件
- ・ まず家庭や個人の意識を向上させること 8件 など



(3) 家族・家庭の力を高める取り組みで県などに期待すること

Q12 家庭の力を高める取り組みで県などに期待すること (自由記入)

- 1 回答者の66.4%にあたる411人が記載した
- 2 記載内容(延476項目)の主なものは以下のとおり

・ イベントの開催など家族で利用できる場や機会の創出	92件
・ 子育て教育や環境学習など教育、学習機会の充実	81件
・ 雇用、福祉分野の充実による安定した暮らしの支援	44件
・ 各家庭の問題であり行政が関与すべき分野でない	40件
・ 家族を取り巻く地域社会や団体等への支援	30件
・ 多様な媒体の活用などによるPRの強化	28件
・ 休暇制度の充実などで家族で過ごす時間を増やす	24件
・ 家族に対する施設等での割引制度の創設	22件 など

[問い合わせ先]

県民政策部知事室広聴課 (TEL078-362-3021)